

2023年3月期 決算説明会

経営方針

2023年5月9日

太陽誘電株式会社
代表取締役社長
登坂 正一

太陽誘電グループが目指すもの

ミッション

おもしろ科学で
より大きく より社会的に

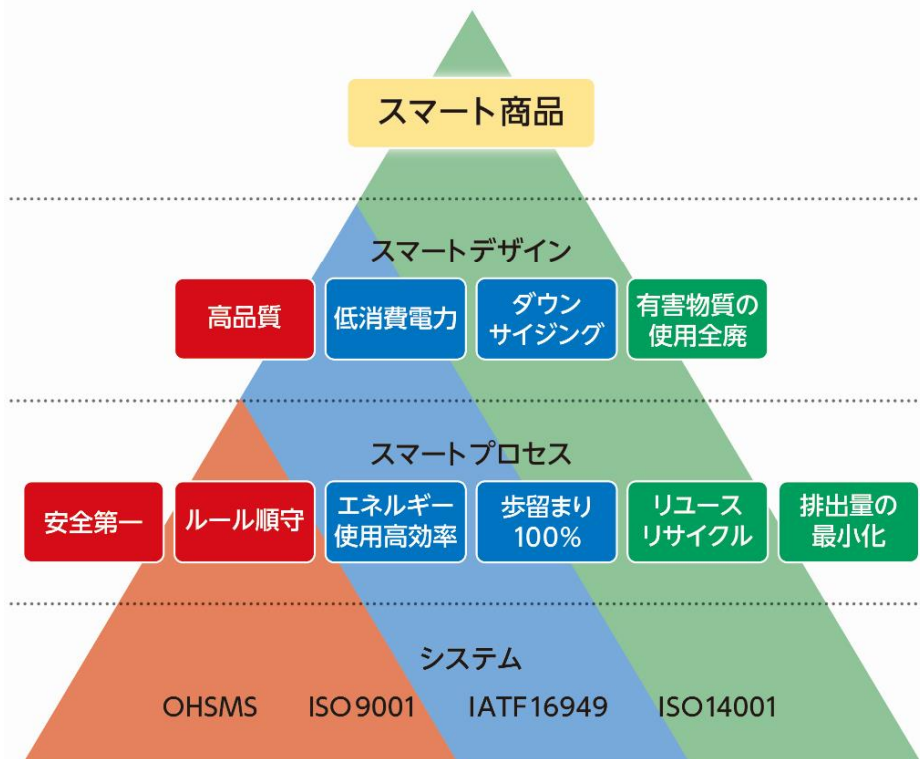
経営理念

従業員の幸福
地域社会への貢献
株主に対する配当責任

ビジョン

TAIYO YUDEN VISION

すべてのステークホルダーから信頼され
感動を与えるエクセレントカンパニーへ



中期経営計画2025

(2021～2025年度)

中期経営計画2025 マテリアリティ

分類	マテリアリティ	SDGs目標
経済価値	•基幹事業成長のためのコア技術の強化 •社会課題解決のためのソリューション創出	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  9 産業と技術革新の基盤をつくろう 
社会価値 E 環境	•気候変動への対応強化 •資源の有効活用と循環型社会構築への貢献	6 安全な水とトイレを世界中に  12 つくる責任 つかう責任  13 気候変動に具体的な対策を 
社会価値 S 社会	•安全第一な職場で健康経営と働き方改革を実現 •ダイバーシティを基盤とした人材の開発と育成	3 すべての人に健康と福祉を  5 ジェンダー平等を実現しよう  8 働きがいも経済成長も 
社会価値 G ガバナンス	•事業の成長を支える経営品質の向上 •災害や感染症に対するBCM構築と進化	11 住み続けられるまちづくりを  16 平和と公正をすべての人に 

経済価値と社会価値を両輪とした企業価値向上を目指す

1

商品戦略

積層セラミックコンデンサ（MLCC）のさらなる成長に加え、インダクタと通信デバイスを強化し、コア事業として確立

－ ハイエンド商品、高信頼性商品を中心とした高付加価値な電子部品を創出

2

市場戦略

注力すべき市場（自動車＋情報インフラ・産業機器）の売上比率を50%へ

3

財務戦略

1. 電子部品の需要拡大に対応するため、継続的な能力増強を実施
2. 株主還元の充実、安定的な配当性向30%実現へ

4

ESGへの取組み

数値目標を掲げて取り組みを加速、社会価値向上へ

－ (E)気候変動への対応、(S)安全第一で健康経営と働き方改革、(G)経営品質の向上

中期経営計画2025 経営指標

企業価値（経済価値＋社会価値）

経済価値

売上高

4,800億円

営業利益率

15%以上

ROE

15%以上

ROIC

10%以上

社会価値

E

GHG排出量

絶対量

2030年度 42%削減

※2020年度比

E

廃棄物
水使用量

原単位（生産高）

2025年度 10%削減

※2020年度比

S

安心安全な職場
拠点機能最適化

・安全性・快適性・環境性能を
兼ね備えた職場作り

・傷病率<0.016

・度数率<0.08

S

働き方改革
ダイバーシティ

・ワークエンゲージメント2.5以上

・新卒女性採用率 30%以上

・女性管理職比率

2030年度 10%以上

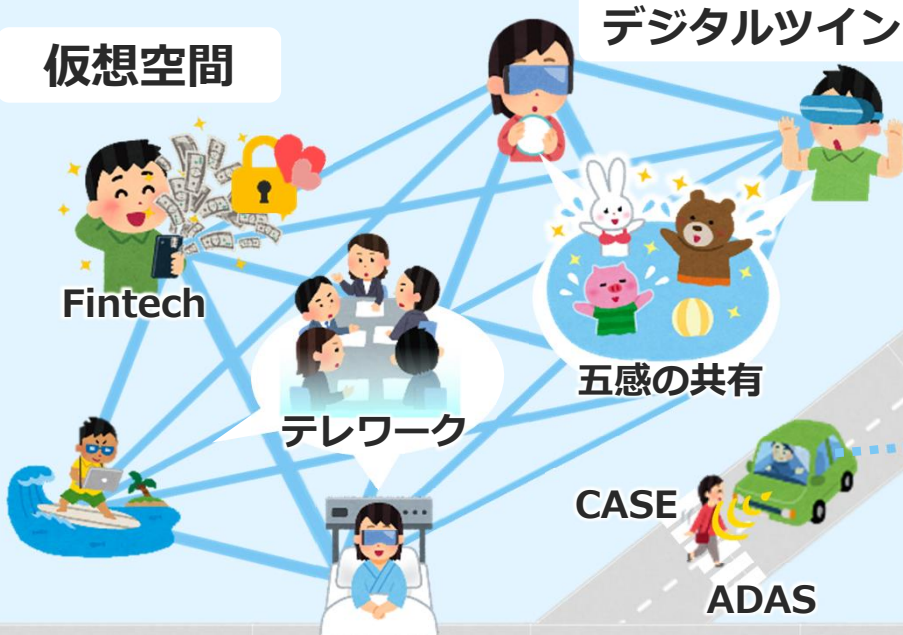
※為替前提：1US\$=¥105

経済価値の向上

つながる世界の到来

Web3.0、対話型AI・Metaverseがもたらす社会の変化

仮想空間



デジタルツイン

五感の共有

テレワーク

Fintech

スマート社会



スマート農業

AI管理
Cloud Systems

ウェアラブル

5G 6G
基地局

工事現場×

IoT
ヘルスケア



スマート保守
異常検知・異常予測

AI管理



スマート物流

原料・生産・輸送・倉庫・
販売・配送・顧客在庫管理

AI管理

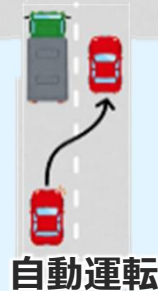


交通事故ゼロ社会

CASE

ADAS

車⇄人の無線通信



技術の発展

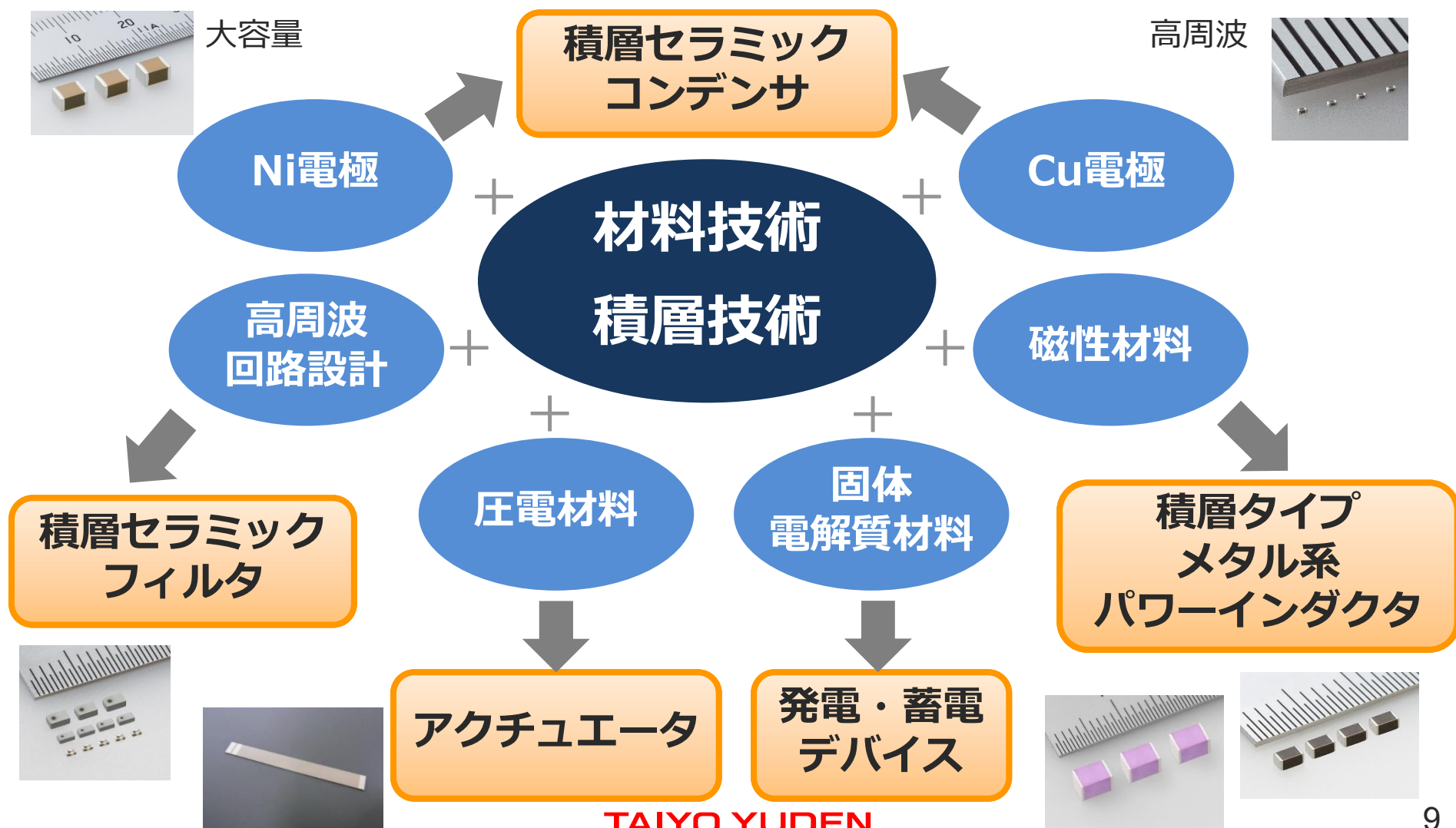


光コンピューティング

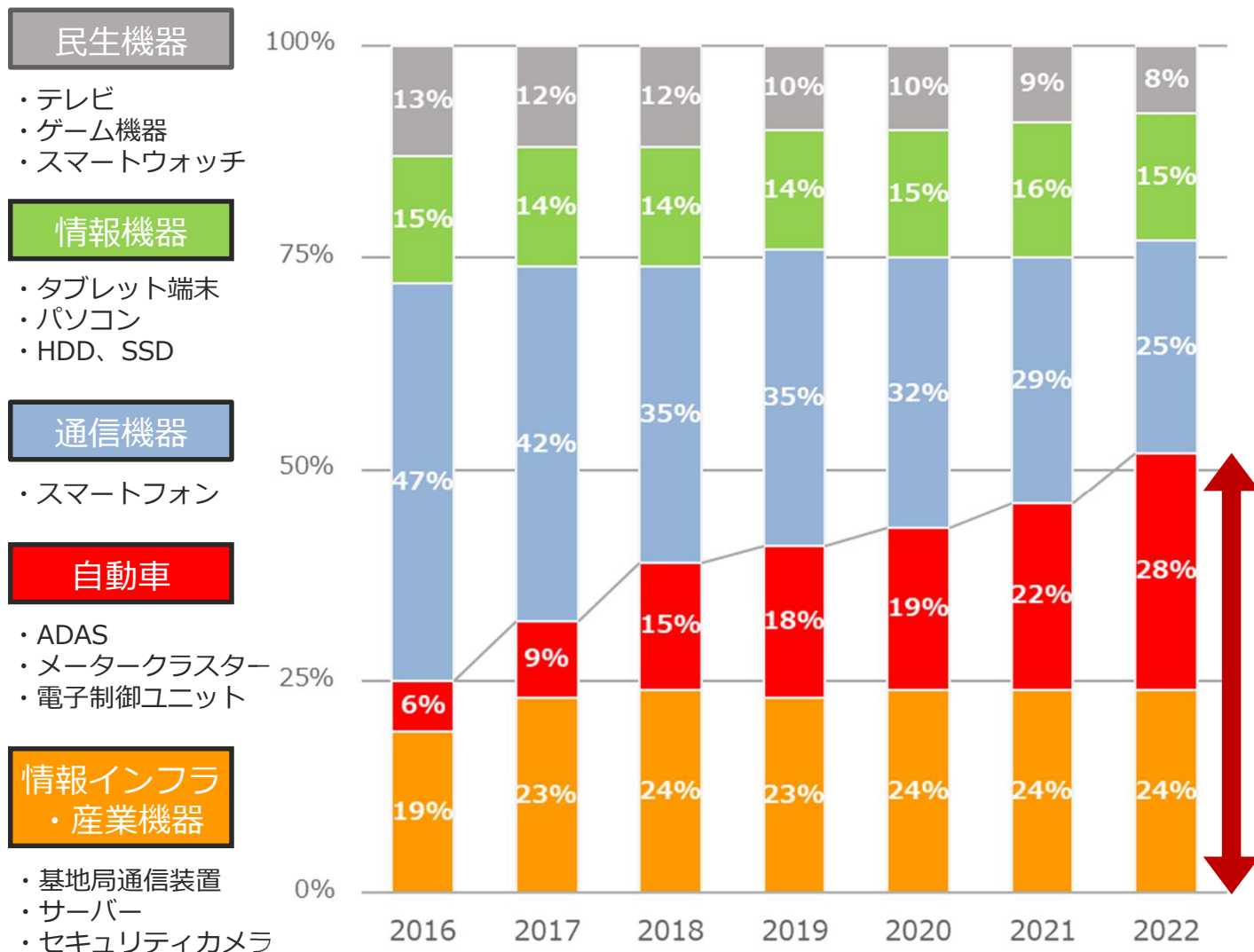
- ・半導体の動作に不可欠な受動部品
- ・AI技術の急成長、IoT通信、CASE
- ・センシングソリューションの爆発的増加

材料技術、積層技術を中心とした商品展開

卓越した技術力を駆使し、5G、自動車電装化などの
技術進化を支えるハイエンド電子部品を供給



用途分野別売上構成



ターゲット

注力すべき市場

50%

自動車 25%
情報インフラ・
産業機器 25%

▶ **成長市場の
売上比率拡大**

**注力すべき
市場**

52%

※当社推計値

製品戦略：積層セラミックコンデンサ（MLCC）

業界トップクラスの技術力を活かし、高付加価値ゾーンに注力

■ 中期需要予測の変化に対応した能力増強

能力増強計画を一部変更
高信頼性品・大型形状品へのシフトを加速し、
供給力拡大

2025年度 需要予測（2020年度比）

数量

前回予測 **1.6倍**（2021年5月時点）



今回予測 **1.4倍**（2023年5月時点）

- ・ 高信頼性商品・大型形状品の増加が加速
- ・ 一般民生品・小型形状品の増加は減速

平均単価

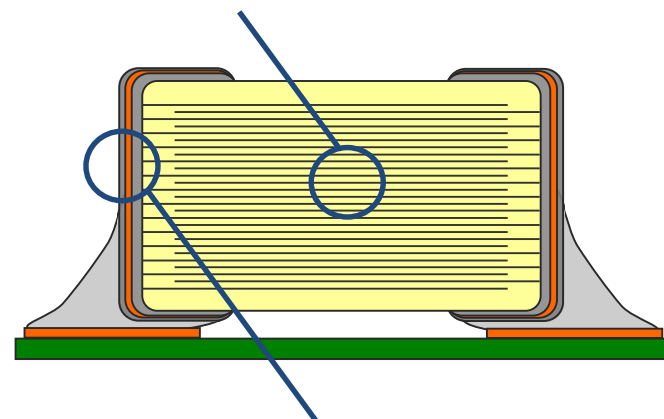
大型形状品の比率拡大により、上昇

■ 高信頼性MLCCの商品力強化

自動車、情報インフラ・産業機器の
ニーズにマッチした商品展開

ハイエンド商品で培った要素技術を応用

- ・ 誘電体材料の小粒径化＋高温・高信頼性化
- ・ 内部電極粉体の小粒径化、高連続化



顧客ニーズに対応した
外部電極技術

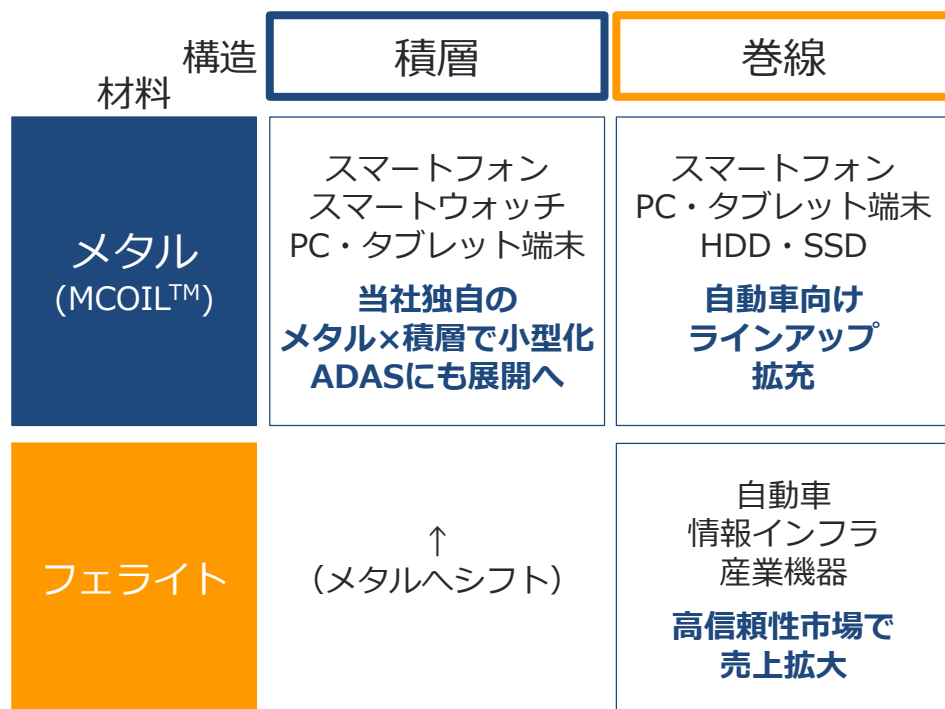
- ・ Ni電極、Cu電極、
Ni/Cu電極＋樹脂

製品戦略：インダクタ

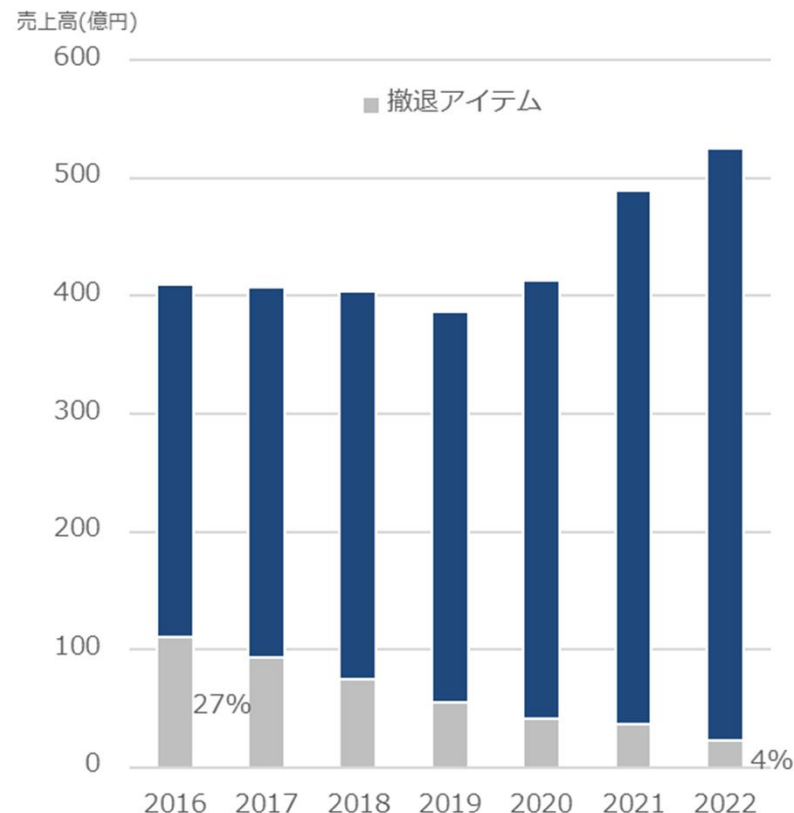
パワーインダクタで競争優位性発揮、ミックス改善で収益性向上

■ 高度な要素技術を組み合わせた パワーインダクタを豊富にラインアップ

スマホに加え、IoT、自動車、情報インフラ・
産業機器への展開で市場と顧客を多様化



■ アイテムミックスを改善し、 高収益体質ヘシフト



※「MCOIL」は日本およびその他の国における太陽誘電株式会社の登録商標または商標です。

製品戦略：複合デバイス

独自技術を活かし、高付加価値ビジネス追求

通信デバイス

モバイル通信用デバイス（FBAR/SAW）
積層セラミックフィルタ

■ 自動車、情報インフラ・産業機器向けの拡大

- ・素子の材料技術、堅牢なパッケージ構造で優れた高信頼性特性を発揮
- ・テレマティクス、M2M、IoTでの採用拡大

コネクテッド・カー

e-Call（自動緊急通報システム）など

スマート メータ

セキュ リティ 機器

POS システム

■ 新技術「TLSAW™」「HPDP」

5Gの進化に不可欠な高水準の技術ニーズを満たす

- ・ TLSAW™(素子技術) …低ロス、広帯域、急峻
- ・ HPDP(パッケージ技術) …低背、高信頼性

■ 販売ルートの多様化

セットメーカーへのディスクリット販売に加え、
モジュール用途への展開を目指す

選択と集中で収益性向上

回路モジュール

■ 回生電動アシストシステム

スマートモビリティ社会の実現に
貢献する電動アシスト自転車に
搭載されるシステムを自社開発



■ その他のモジュールは 事業譲渡・縮小・撤退へ

無線モジュール事業は他社へ譲渡、
電源モジュールは縮小・撤退し、
リソースを再配分

自動車を中心とした高付加価値市場で販売拡大

※製品区分：その他

■ 豊富なラインアップでニーズに対応

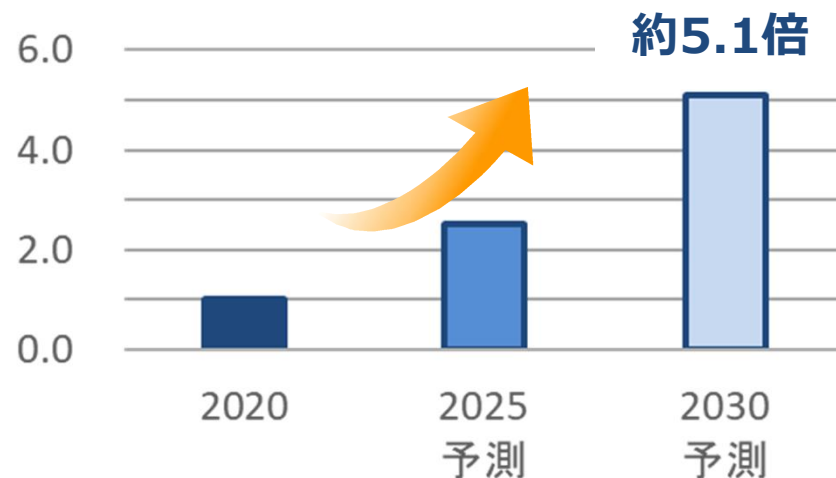
- ・ 高信頼性、大電流対応、低ノイズ
- ・ 大型形状品、大容量品を豊富にラインアップ

case size	太陽誘電 (ELNA)	A社	B社	C社
Φ5 x 5.8	✓	✓		✓
Φ6.3 x 5.8	✓	✓	✓	✓
Φ6.3 x 7.7	✓	✓	✓	✓
Φ8 x 8.7	✓			
Φ8 x 10	✓	✓	✓	✓
Φ10 x 8.7	✓			
Φ10 x 10	✓	✓	✓	✓
Φ10 x 12.5	✓	✓	✓	✓
Φ10 x 16.5	✓	✓		✓
Φ12.5 x 13.5	✓			
Φ12.5 x 16.5	✓			

■ 能力増強で自動車向け需要拡大に対応

- ・ xEV化、パワートレイン電動化、ADAS高度化などにより自動車向け需要が急速に拡大
- ・ 開発から生産まで、効率的な国内一貫体制を構築し、生産能力を増強

導電性高分子ハイブリッド
アルミニウム電解コンデンサ需要予測（数量ベース）



※当社予測

ELNA



当社の独自技術と社外の技術リソースを融合し、 社会課題解決型ソリューションを創出

防災・減災で
暮らしを守る

河川モニタリング
システム

自治体向けサービスの
提供を開始

河川の水位や状況を監視。
広島県福山市、
群馬県大泉町で導入。

河川

流域

IoTで安全・安心、
快適・便利な社会を

IoTエンジン
「soliot™」

国土交通省の
ワンコイン浸水センサ
実証実験に参加

小型・長寿命・低コスト。
官民連携による
流域の浸水状況把握。

スマートモビリティで
脱炭素社会の実現へ

回生電動アシスト
システム
(電動アシスト自転車向け)

効率的な
社会インフラの構築

セルラーLPWA
モジュール
(スマートメーター向け)

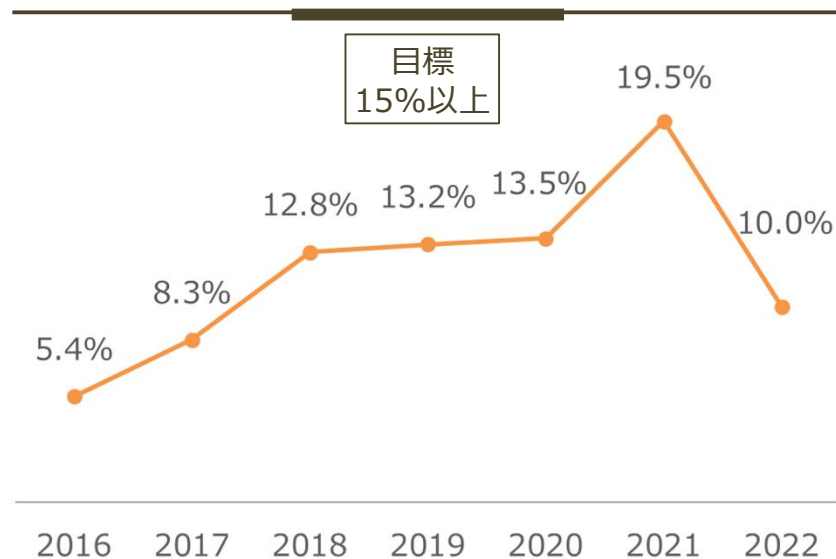


経営指標推移（経済価値）

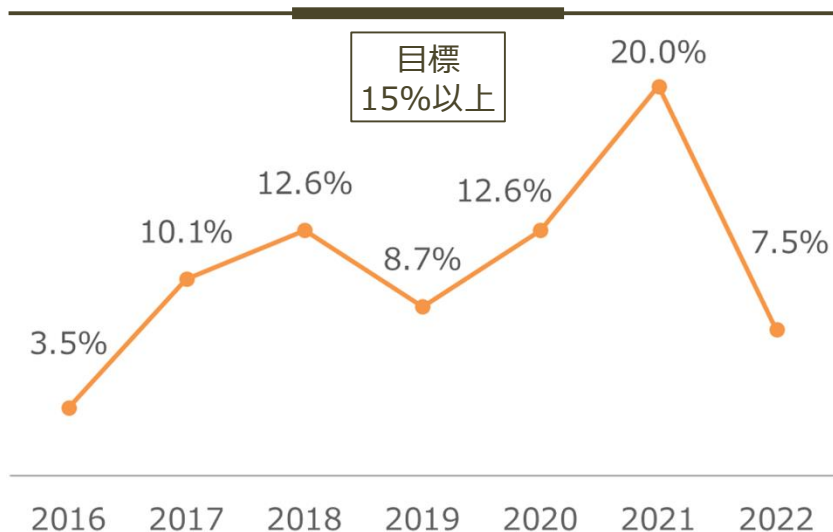
売上高



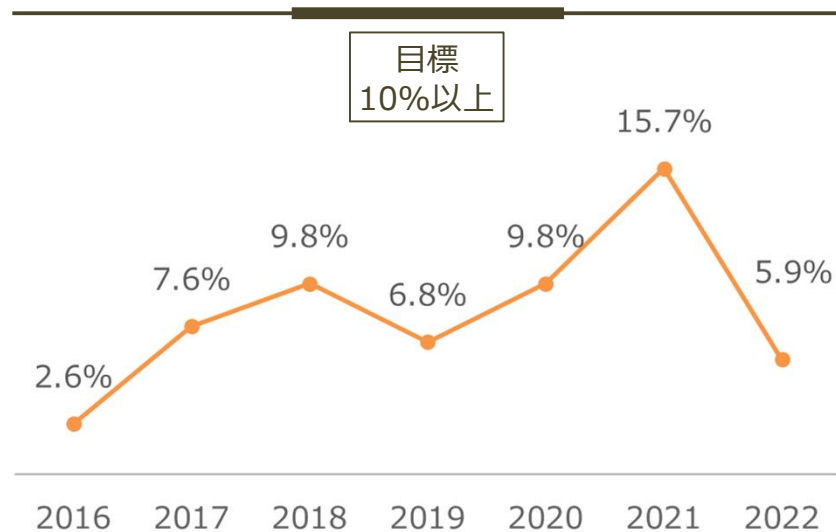
営業利益率



ROE



ROIC



社会価値の向上

GHG排出量

■ 「ZEB Ready」 認証を取得

2023年1月に完成した八幡原工場 材料棟が、先進的な建築設計によるエネルギー負荷抑制や高効率な設備導入等により、大幅な省エネルギー化を実現



八幡原工場 材料棟
(群馬県高崎市)

■ 「CDP気候変動」 Aリスト企業に選定

国際環境非営利団体であるCDPから気候変動対策や戦略、情報開示に優れた企業として最高評価を獲得



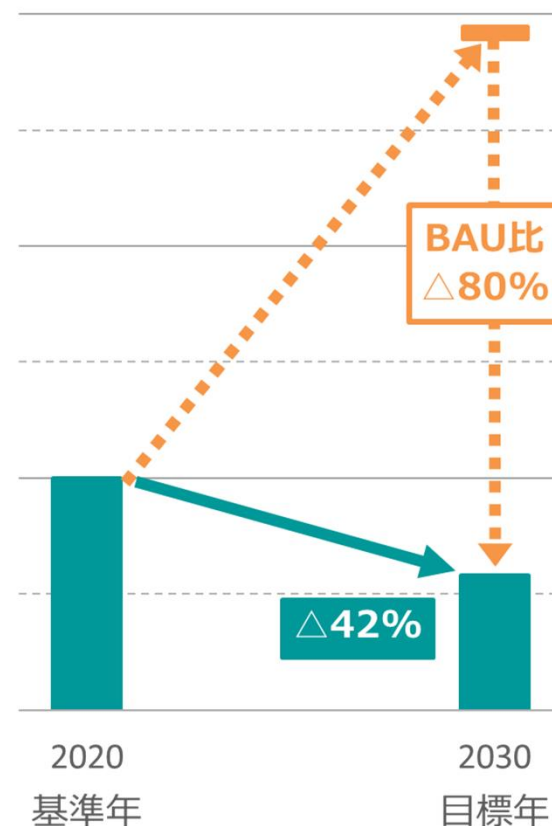
■ TCFD提言への取り組み



脱炭素社会の実現に向け、省エネ・創エネ・再エネのものづくりを推進、情報開示拡充

GHG排出量42%削減へ (絶対量)

BAU（自然体）ケースでは、生産増により約3倍に



ESGの取組み ～S：社会～

安心安全な職場

■ 製造業トップクラスの安全な職場環境



$$\text{度数率} = \frac{\text{労働災害による被災者数[休業1日以上]}}{\text{在籍労働者の延べ実労働時間数}} \times \text{百万}$$

■ 「5M」で安心して働ける職場を追求

Man	基礎教育の徹底と「安全行動意識」の醸成
Machine	設計者の設備安全設計水準アップ
Method	バラツキのない安全作業
Material	化学物質の有害性/危険性の最小化
Measurement	チェック水準の深化

働き方改革・ダイバーシティ

■ 5つの指標に着目し、健康経営を推進



■ 勤務制度改革によるワークライフバランス向上

育児休業制度を改正、男女ともに仕事と育児を両立しやすい職場環境づくり

■ マネジメント研修、ハラスメント防止研修などを拡充

従業員アンケートの回答を分析、拠点や職位ごとの課題に応じた研修を実施

ワークエンゲージメント向上

従業員が仕事を通して活力を得て、健康でいきいきと能力を発揮する企業へ

経営指標推移 (社会価値)

*4月1日時点

GHG排出量

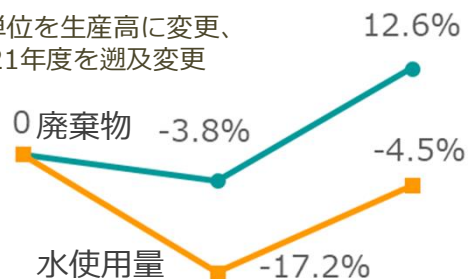
2030年度目標
絶対量 42%削減
(単年 -4.2%相当)



廃棄物・水使用量

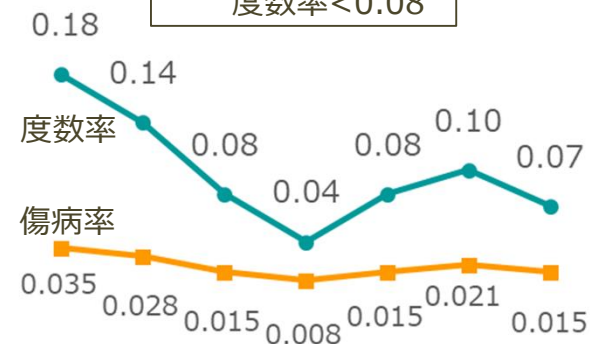
2025年度目標
原単位 10%削減
(単年 -2.0%相当)

※原単位を生産高に変更、
2021年度を遡及変更



傷病率・度数率

目標 傷病率<0.016
度数率<0.08



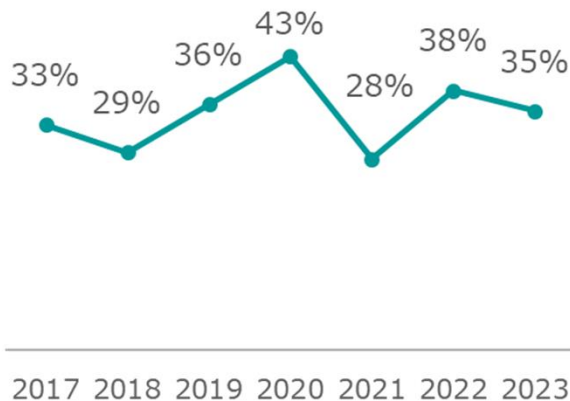
ワークエンゲージメント

目標
2.5以上



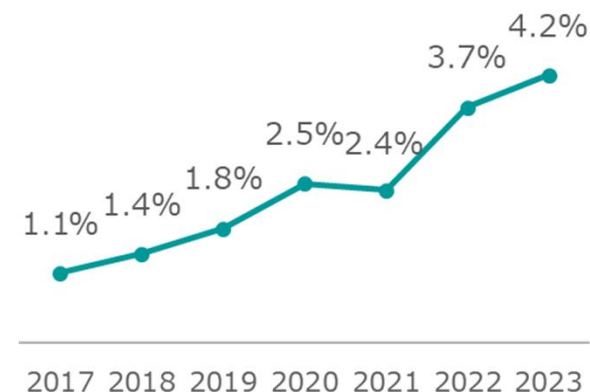
新卒女性採用率*

目標
30%以上



女性管理職比率*

2030年度目標
10%以上

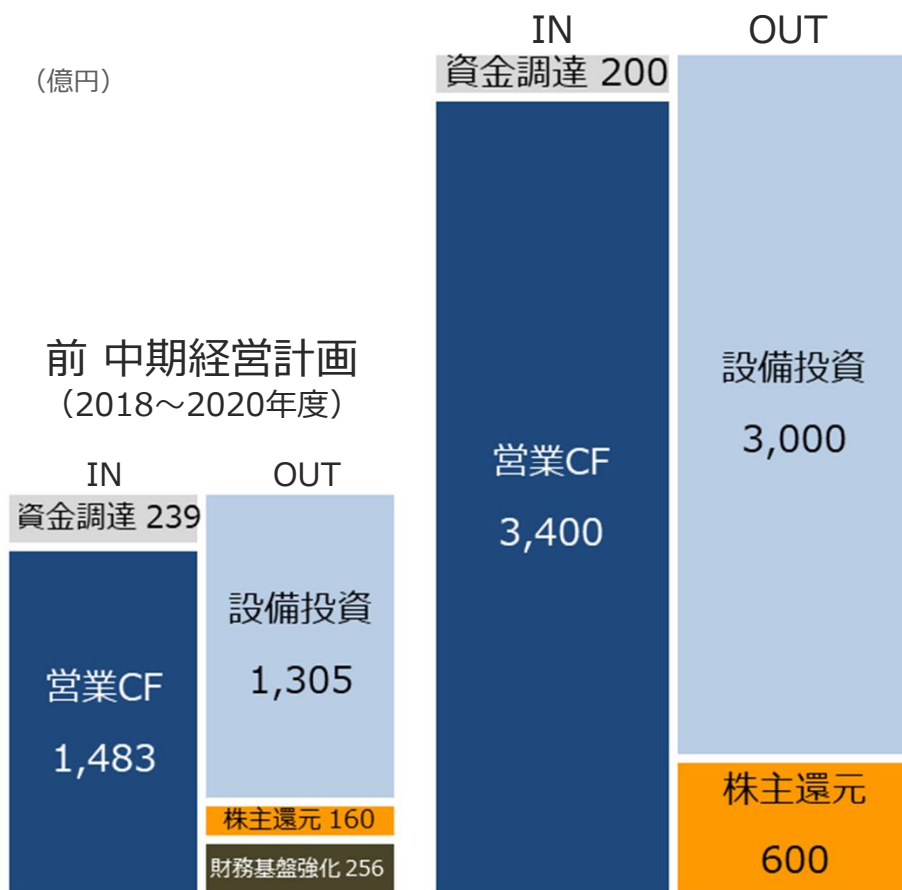


キャピタル・アロケーション

電子部品の需要拡大に対応するため、 5年間累計で3,000億円の設備投資を計画

中期経営計画2025

(2021～2025年度)



設備投資計画

■ MLCCに重点投資

- ・ 新工場立ち上げ（日本、マレーシア、中国）
- ・ 毎年10～15%の能力増強を予定（設備負荷ベース）

■ メタル系パワーインダクタ、導電性高分子ハイブリッドアルミニウム電解コンデンサの能力増強

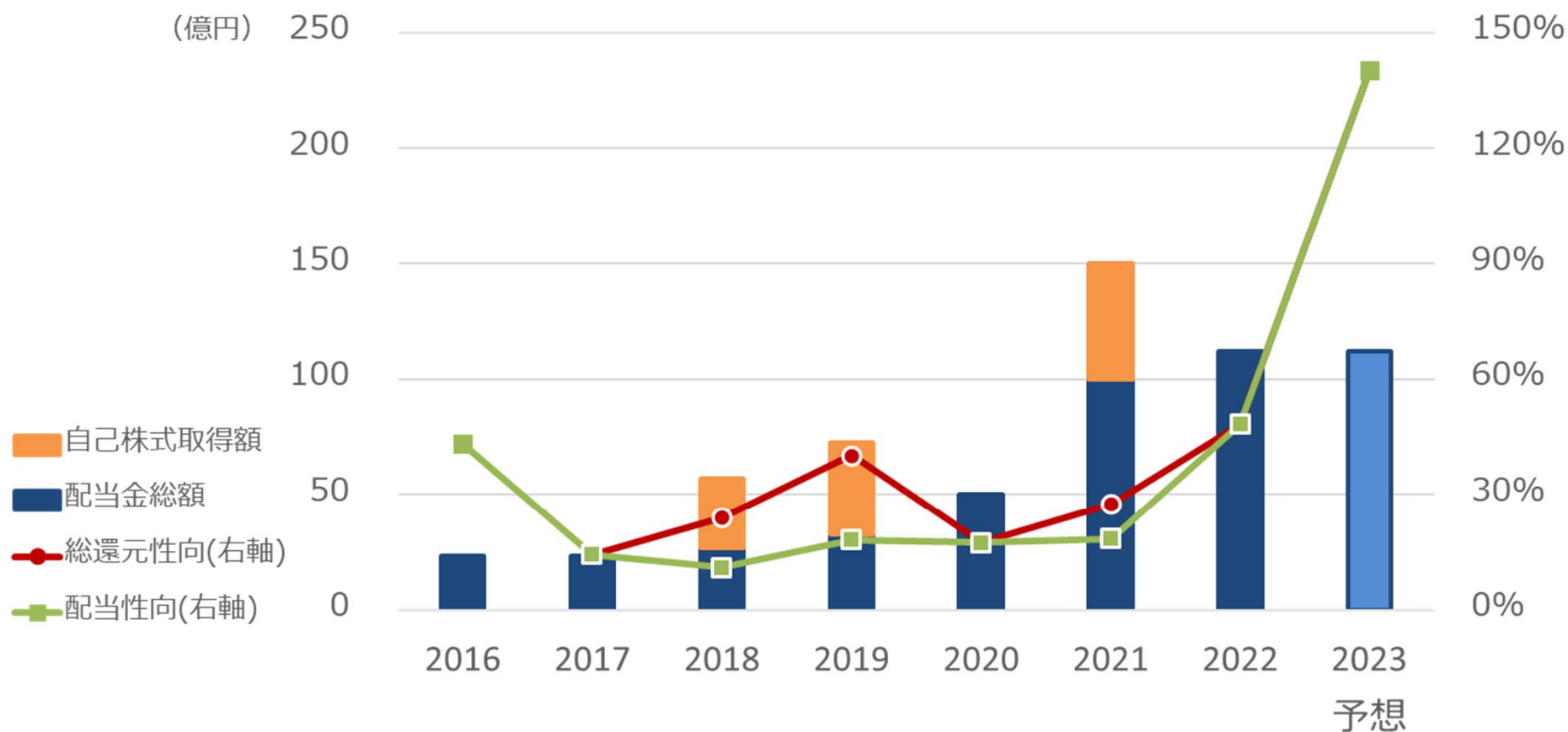
■ 環境対策投資やIT投資、安全で快適な職場づくりのための投資（投資額のうち10%程度）

株主還元方針

- 安定的な配当性向30%の実現
- 必要に応じ、自己株式の取得を実施

株主還元方針

中期目標として、安定的な配当性向30%の実現を目指す
必要に応じて、自己株式の取得を実施



1株当たり年間配当金(円)	20	20	21	26	40	80	90	90
1株当たり当期純利益(円)	46.08	138.80	189.93	143.04	227.99	433.46	186.32	64.20

当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN